

平成13年11

商工わがのと

平成13年11月1日発行 第466号
(隔月1日発行 定価1部40円)

発行人 石川県商工会連合会
発行所 石川県金沢市戸水町イ65番地
〒920-0223 TEL (076)268-7300

石川県商工会連合会会報

<http://www.ishikawashokokai.or.jp/>



とじ込んで保存しましょう

演劇情報を全国へ向け発信(中島町)

主な内容

- 第41回石川県商工会大会を開催...(2頁3)
- 商工業の振興に連携強化.....(4)
- 広域連携で指導体制の充実を.....(5)
- 県連合会新設4委員会を開催.....(6)
- 地域求職活動援助事業を実施.....(7)
- 中小企業景況調査.....(8)
- 石川県中小企業再生支援プログラム創設.....(9)
- 探訪「チャレンジ企業」(有)宏和機械工業：川北町.....(10)

TEL 0767-662323
<http://www.town.nakajima.shikawa.jp>

演劇の町、中島を掲げ能登演劇堂をオープンして以来、演劇専門劇場として数々の舞台をお届けしています。

今回は第二回能登演劇堂ロングラン公演「ウインザーの陽気な女房たち」(原作/シェイクスピア)出演/仲代達矢・山本圭・小宮久美子ほかに、十一月十一日まで好評公演中です。期間中はテント村にて、中島町の特産品各種が販売されています。

また、十一月十八日(日)「赤どじょう」(石川県高校演劇連盟公演)、十二月八日「すべて世は事も無し」(加藤健一・岡まゆみ・山口果林出演)、二月十八日「和泉流狂言」(和泉元彌出演)が催されますので、ぜひご来場ください。

中小企業に配慮した構造改革等の推進等を決議

第四十一回石川県商工会大会

連合会はさる十月二十五日、県地場産業振興センターにおいて第四十一回石川県商工会大会を開催した。

席上、地域に貢献した企業、商工会役職員及び永年商工会員事業所に勤務した優良従業員に対する表彰が行われた。

また、景気対策の推進並びに中小企業に配慮した構造改革等の推進や、中小企業金融対策並びに関係税制の改正・拡充などを盛り込んだ四項目の提言を決議した。

谷本県知事をはじめ多数の来賓を迎え、県下三十五商工会から約八百人が参加するなか、谷本県連会長は、不良債権処理や特定財源の見直しな



被表彰者

(敬称略)

中部経済産業局長表彰

商工会役職員功労者

〔鶴来〕角永善一 副会長〔内灘町〕連太喜義 副会長〔富来町〕泉貞 副会長〔柳田村〕棚田昭男 副会長

優良職員

〔根上町〕浜田由美子 記帳指導職員、赤井やす子 記帳専任職員〔石川県商工会連合会〕表久臣 商工会指導員

石川県知事表彰

商工会役職員功労者

〔辰口町〕本明夫 副会長、大家栄次郎 理事〔川北町〕森元國夫 副会長、北村清隆 理事、南邦夫 理事〔森本〕的場豊 征理事〔内灘町〕本出彌治 副会長、前崎隆夫 副会長〔富来町〕高沢佐門 理事〔鹿島町〕村田利雄 理事〔能登島町〕後藤達雄 副会長〔能都町〕小間明夫 理事、藤田寿朗 監事、鶴野幸一郎 理事〔内浦町〕新出忠志 理事

表彰式、大会決議、商工会

青年部・女性部の主張発表〔青年部は鶴見静朗「高松町」・女性部は南アキ子「鳥越村」〕が行われた後、来賓

の谷本正憲県知事、中部経済産業局長（代理中野勝中部経済産業局産業企画部次長）善田晋作県議会議長、から、中小企業支援に向けて力強い祝辞を頂戴した。

大会決議

1. 景気対策の推進並びに中小企業に配慮した構造改革等の推進
2. 中小企業金融対策並びに関係税制の改正・拡充
3. 中小企業の活性化と地域振興対策の推進
4. 平成14年度中小企業対策予算全額確保

青年部役員功労者

〔吉野谷村〕谷端正宗 前部長〔鳥越村〕村修一 前部長〔白峰村〕北野誠 前部長

女性部役員功労者

〔能登島町〕若林和枝 前部長〔鹿西町〕中島トヨ子 前部長〔門前町〕鶴岡柳子 前部長〔内浦町〕金七えり子 前部長

全国商工会連合会会長表彰

会員事業所優良従業員

〔山中町〕三崎昇、谷本幸男、森山輝海、新家彰子、内藤一枝〔根上町〕久田弘明、平田礼子、中川照子〔寺井町〕佐藤憲二、村井正直、東信夫、中野修治、辻恒子〔辰口町〕本多秋男〔野々市町〕山田明彦、茶院留夫、清水孝昭、谷本末夫、山本修二、池端高尚、藤原康見、大村幸三、河野浩二、田辺茂、山本明、倉田正行、宮西律子、中島隆男、山田征八郎〔鶴来〕亀田洋子、山下百合子、吉田勉、山口俊明〔河内村〕田口和男〔吉野谷村〕石野光弥、石倉正芳、河合忠志、橋爪進子、山田妙子〔高松町〕玄海ふさ子、宮古幸夫〔七塚町〕古永良子、金田昭吉知〔宇ノ気町〕千葉マキ、藤田静子、奥井秀夫、内瀧政司、林実、生田三

石川県商工会連合会会長表彰

〔高松町〕岩井武由前会長〔内浦町〕西中勝美前会長

青年部連合会功労者

〔商工会青年部連合会〕村修一 前会長、岡山耕二 前副会長、高橋傑 前副会長、山本邦彦 前副会長、中島登前副会長

女性部連合会功労者

〔商工会女性部連合会〕山田澄子 前会長、鶴岡柳子 前副会長、松本則子 前副会長、由雄久美 前副会長、沢井光子 前副会長

商工会役職員功労者

〔山中町〕久保出久一 理事〔寺井町〕田上好道 副会長、徳久武理

商工業の振興に連携強化

市町村長と商工会長との懇談会を開催

県連合会と県下二十五商工会は、去る十月九日、「市町村長と商工会長との懇談会」を金沢市のホテル日航金沢で開催し、商工会地区の市町村、商工会などから約百五十人が出席した。

懇談会では、地域商工業振興のための連携強化策などについて話し合ったほか、富山県山田村の倉田機械設計事務所代表の倉田勇雄氏が「電脳化による地域おこし」山田村の行進曲は「インターネット」と題して、パソコン普及率日本一の山田村の地域おこし事例について講演した。

懇談会には、来賓として西平秀夫県町村会長（田鶴浜町長）、斉藤直県商工労働部長、土屋直三県経営支援課長の臨席のもと、市町村側から商工会地区の市町村長、商工担当課長が、商工会側から商工会長、事務局長らがそれぞれ出席した。

冒頭、谷本大県連合会長が「景気低迷の長期化などで中小企業にとって厳しい状況が続く中、市町村と商工会が更に連携を強化し、独自性ある地域の振興、発展に努めていきたい」とあいさつした。

商工会の現状と課題

続いて、大塚忠寿県連合会専務理事が「商工会の現状と課題」として、商工会を取り巻く環境変化、今年に入ってから一段と悪化している景況、この十年間で千を超える会員数減少の実態、廃業が開業を大きく上回る状況など、商工会の対応の現状、巡回・窓口指導、金融あつせん、創業支援、IT支援、専門家派遣等の状況など、商工会の課題、広域連携事業と指導体制の強

化、市町村との連携推進、商工会の財源確保など、について説明し商工業振興への連携強化について市町村側の理解を求めた。

市町村と商工会との連携事業

次いで、市町村と商工会とが連携した、寺井町と鹿西三町の事業について事例発表が行われた。

寺井町商工会の中兼太郎会長は、行政をはじめ九谷焼業者、商店街、関係機関が一体となり、長年の念願であった九谷茶碗まつりの歩行者天国開催に向けた取り組みの経緯、支援について紹介した。また、同町の南野隆助役は、

「はじめの事業であり、実施結果を踏まえ、今後もまちづくり、地場産業の振興のために支援していきたい」と述べた。

鹿島町商工会の池島寛仁会長は、鹿島郡鹿西地区商工会を代表して、昨年から、織維産地の振興をはじめ、魅力あるまちづくりを推進するため鹿西三町の商工会と行政が連携して取り組んでいる「鹿西地区ファッションタウン構想」の事業を紹介した。

また、同町の長澤隆静町長は、「三つの商工会と行政が連携し鹿西地域全体で取り組んでいることは素晴らしいことである。今後も商工業者の自助努力に対しては積極的に支援していきたい」と述べた。

電脳化による地域おこし

《講演要旨》

山田村のパソコン普及率は日本一とご紹介いただいたが、その二割は電源すら入れていない状況にある。この情報格差が今の悩みである。

村では、この十二月から百メガの光ファイバー網を敷設するための工事を始める。コンピュータの使い方がわから



倉田講師

なくても、映像やシミュレーションにより各家庭間で情報交換ができるような仕組みを確立するためである。

また、村の人々がもつノウハウ、頭脳資産を映像化し、次の世代の人々に残し、夢を与えていきたいと思っている。

村の電脳化は、ハイテク化が目的ではなく、若者が都会へ行かなくても夢をもてるような環境をつくり、そして、人と人とのつながりにより地域が活性化するような仕組みづくりが目的である。

最後に県連合会の秋田力副会長が出席者への感謝、今後一層の連携強化のお願いとともに閉会のあいさつを行い、懇談会を終了した。

広域連携で指導体制の充実を

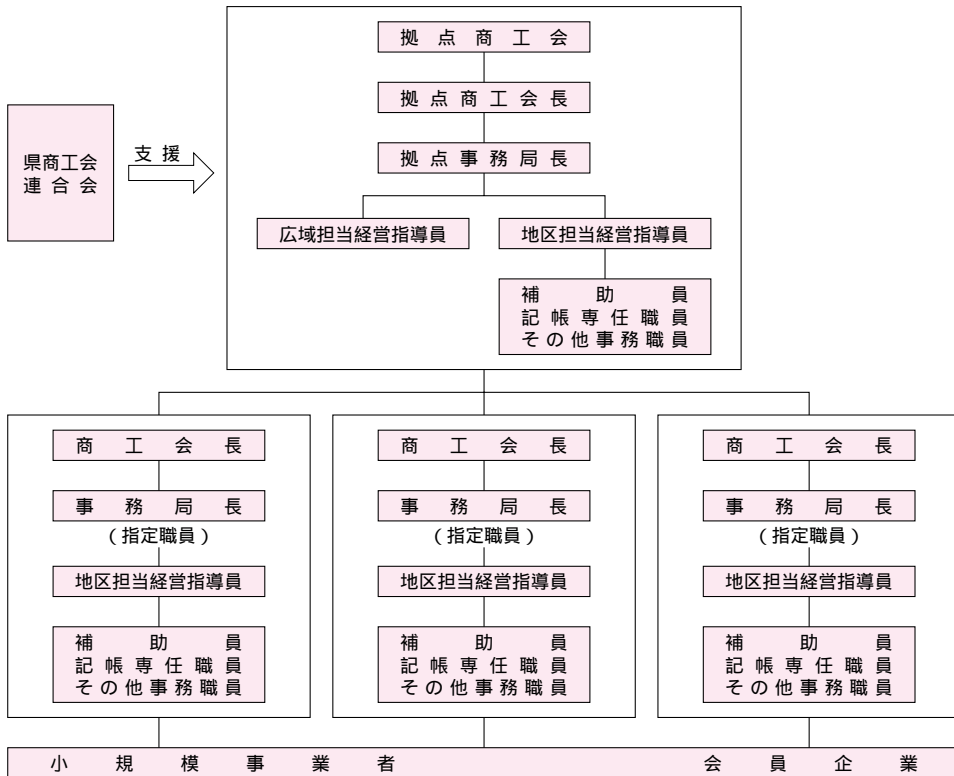
～経済活動の広域化・相談指導の多様化に対応～

国の中小企業政策の見直しや市町村の厳しい行財政改革の必要性に伴う地方分権の推進及び商工業者の経済活動の広域化、

相談指導ニーズの多様化、高度化など、近年商工会を取り巻く環境は大きく変化しています。県連合会ではこうした環境に対

応するため、広域連携による事業の実施及び会員企業への支援など広域指導体制の強化に積極的に取り組むことを決定しまし

< 広域連携の指導体制(基本モデル) >



< 広域連携事業の内容 >

拠点商工会の事業例	構成商工会の事業例
ア．専門別、業種別、広域問題等に対する高度な相談・指導及び専門家・専門関係機関とのコーディネート イ．ブロック別経営相談所の開設 ウ．青年部・女性部広域連携事業の実施 エ．部会視察の共同実施 オ．地域内問題別・課題別経営者の交流会の開催 など	ア．経営改善普及事業 ・計画的な巡回・窓口による指導 ・産業特性等にマッチした講習会、研修会等の開催 ・解決しにくい課題等の拠点商工会への取次ぎ など イ．地域総合振興事業 ・部会活動の推進 ・地域活性化等のイベント企画策定支援 など

た。

そこで、広域連携指導体制の仕組み等について、次のとおりQ&Aでご紹介します。

Q「広域連携」とはどのような考え方が基本になっていますか。

A 商工会の広域連携等には、広域連携と合併があります。本県では、市町村の合併の動向をみながら、当面、広域連携を基本に環境変化に対応していきます。

従って一市町村一商工会の現行体制を維持していきます。しかし、これによって今後の商工会の合併を妨げるものではありません。

Q「広域連携指導体制」とはどのような仕組みですか。

A 広域生活圏、広域経済圏に対応するため、県下三十五の商工会を六つの広域商工会協議会に分け、広域ブロック単位で活動を重点的に実施する広域支援センター(仮称)を導入します。望ましい指導体制としては、「広域拠点商工会に広域担当経営指導員を配置し、地区商工会には地区担当経営指導員を配置する指導体制」を基本モデルとしています。

また、この基本モデルをベースにして各広域商工会協議会において、十四年度体制が整った

ブロックから導入を図っていくこととしています。

Q 商工会、拠点商工会からは、どのような支援が受けられるのですか。

A 各商工会の地区担当経営指導員からは、これまでどおり金融あつせん、税務指導、経営相談等の支援を受けることができます。

また、広域の拠点商工会では配置された広域担当経営指導員から、創業支援、経営革新、専門別、業種別、広域問題等に対する高度な相談・指導及び専門家等とのコーディネートなどの支援を受けることができます。

従って、会員の皆様には従来の「商工会」及び「広域拠点商工会」の両方の指導が受けられ、これまで以上のサービスを受けられるメリットがあります。

Q 県連合会はどのような支援を行うのですか。

A 県連合会では、広域指導センターを中心に指導体制整備のための支援を行うほか、担当の課の設置や専門的・高度な指導相談を支援するため、中小企業診断士等が積極的に参画できる体制の整備を行います。また、広域担当経営指導員を育成するため、中小企業診断士養成研修に職員を派遣します。

県連合会新設四委員会を閉催

環境・福祉、ＩＴ、ベンチャー・国際、まちづくり・交通

県商工会連合会では、商工業を取り巻く環境が厳しいことや、業種を超えた課題等が多くなってきたことから、これまで設置していた業種別委員会（商業、工業）を見直し、十三年度から新たに、課題・問題別に四常設委員会（環境・福祉、ＩＴ、ベンチャー・国際、まちづくり・交通）を設置し、その結果を連合会並びに商工会の事業へ反映させることや関係先へ要望・提言を行っていくこととしている。

環境・福祉委員会

八月二十一日、県連合会研修室で開催した。

委員会では、最初に委員長に町寿氏（鶴来商工会）を、副委員長に森田善久氏（門前町商工

会）を選任したあと、町委員長が議長となり審議に入った。

環境問題に係る国・県の施策について、県環境政策課から、関係法律及び施策について説明を受けた。

県連合会の介護・福祉事業に

モノづくりの環境がたいへん厳しくなってきた。

視点

石川県は、バラエティに富んだモノづくり企業が集積しており、これまで大中小の企業がうまく隊列を組んで仕事をしてきたし、中小の自社製品メーカーも特定市場で頑張ってきた。それが、ここへ来て安閑としてはおれない状況となってきた。その一つが、アメリカ経済の下降である。

特に、日本はあらゆる分野でアメリカ経済と結びついており、アメリカ経済の成長鈍化はストレートに日本経済に影響を与える。

昨年暮れまで石川県の鉱工業生産指数を総合でプラスに押し

上げていたＩＴ関連産業に力ゲリがあらわれ、アメリカのＩＴ関連産業全体の設備投資の冷え込みに連動するかのよう急速に落ち込み、四月以降マイナスになっている。

もう一つのグローバルな動きは、中国経済の成長である。

先般、県連の「ベンチャー・国際委員会」で、ジェットロの守野主任調査研究員（能登島町出身）が「中国経済 貿易動向と今後の見通し」について講演したが、中国だけが高成長を続けている、そんな中国一人勝ちの実情を語ってくれた。

それによると、中国の貿易構造はすでに先進国依存型になっており、貿易を牽引しているのはＩＴ産業であり、中国にとって最大の輸出国はアメリカ（次いで香港、日本、韓国）だとい

う。輸出全体では、昨年は日本（一七・五％）アメリカ（一五・七％）

ついて、県連合会が今年度実施する「介護・福祉ニュービジネス開発・実現化事業」、「ホームヘルパー養成研修事業」について協議した。

今後の委員会の取り組み課題について、「産業廃棄物の減量

香港（一・四％）の順であり、しかも、いまや中国における日本企業の数は一五、〇〇〇社を超えるという。すでに量産型の製品の品質は安定してきており、そのうえに低価格とまではなかなか太刀打ちできない。

このままでは、どんどんモノづくりの拠点や技術が中国に移ってしまつのではないかと思われざるを得ない。

石川県もモノづくりの集積があるが、デフレ経済の中で中国への関心が再び高まっている。世界の貿易の流れは、長い目で見れば垂直貿易から水平貿易へと進んでいくが、本県にとってはグローバルな市場の中で、国内、国外を問わず、また業種、業態を問わず得意のニッチ市場の分野を切り開いていくことが課題である。

（石川県商工会連合会

専務理事 大塚忠寿 記）

化及びリサイクルの推進」とし、今後具体的な内容について研究・検討を行っていくこととした。

ＩＴ（情報技術）委員会

八月二十二日に県連合会研修室で開催した。委員会では最初に、委員長に宮川政豪氏（鳥屋町商工会）を、副委員長に北川外志雄氏（寺井町商工会）を選任したあと、宮川委員長が議長となり審議に入った。

商工会のＩＴ活性化推進のための支援体制について、商工会の研修体制、全国規模のＢｔｏＢ、ＢｔｏＣ市場として全国連が開設している「ネットワーク取引所」、「サイバーモール」、企業のパソコン安価導入の支援策等を事務局から説明した。

連合会のＩＴ関連事業について、商工会地域内の「ＩＴ導入・活用の実態調査」の中間結果、十月から実施予定の「ＩＴ活用セミナー」について、検討・協議を行った。

今後の委員会の取り組み内容について、小規模企業におけるＩＴ活用が遅れていることから、協議の結果、「ＩＴ化支援の推進」を掲げて、ＩＴ導入の必然性、業種ごとの活用策などの課題に今後取り組んでいくこととなった。

ベンチャー・国際委員会

九月二十五日ベンチャー・国際委員会を県連合会研修室で開催した。

委員会では、最初に委員長に瀬口庄八氏（中島町商工会）を、副委員長に吉田忠司氏（宇ノ気町商工会）を選任したあと、瀬

口委員長が議長となり審議に入った。

中国経済・貿易動向と今後の見通しについて、日本貿易振興会（ジェトロ）本部から説明を受け、懇談した。

外国人研修生受入制度と受入状況について説明し、今後の推進等について協議した。

今後の委員会の取り組み内容について、次回はベンチャー企業の育成・支援に係る研究・検討を行うこととした。

まちづくり・交通委員会

九月二十七日にまちづくり・交通委員会を県連合会研修室で開催した。

委員会では、最初に委員長に熊本一郎氏（根上町商工会）を、副委員長に因幡米市氏（押水町商工会）を選任したあと、熊本委員長が議長となり審議に入った。

都市計画法と県内都市計画の現状並びに石川県の道路整備の状況について、県都市計画課長から説明を受け、懇談した。

まちづくりの推進に関する提言について、全国商工会連合会がまとめた提言内容を説明し、石川県における具体的な取り組みについて協議し、継続審議とした。

平成十三年度いしかわ商工会ベスト店賞の実施について、昨年に引き続き、今年度も実施することを報告した。

今後の取り組み内容について、まちづくりに係る具体的な取り組みに加えて道路等産業基盤整備等について研究・検討を行うこととした。

十一月から羽咋市商工会など五団体が
地域求職活動援助事業を実施

石川県九月補正予算の目玉として、失業抑止、職能開発、緊急雇用、新産業創出等の雇用対策が掲げられた。

地域求職活動援助事業は、雇用対策の一環として、生計の担い手である中高年齢者の早期の再就職を促進するとともに非自発的離職者等の労働力需給上のミスマッチを解消し、早期就職を図ることを目的に実施するもので羽咋市商工会ほか四商工会議所(金沢、小松、七尾、加賀)が実施団

体となり、国・県の委託を受けて十一月から県下五地域で実施する。その主な内容は次のとおり。

中高年齢者職場実習
 ハローワークに求職登録している四十五歳以上六十五歳未満の求職者と求人企業間で実習委託契約(職場実習)を締結し、最長一ヶ月間、企業で研修してもらい、実際の仕事に即した能力の取得を目指してもらうことにより求人企業・求職者の不安等を解消し、

再就職に結びつけるもので、職場実習期間中、求職者に奨励金又は雇用保険手当、受入企業に委託費が交付される。なお、再就職に結びつく受入企業は、国の助成金(賃金助成)の対象にもなり得る。

求人・求職情報の提供
 商工会等の求人開拓担当職員が、きめ細かく情報を収集し、商工会等のホームページを活用し、広く情報を提供する。

経営一口講座

届けられることを期待していないメールのことをスパムメールと言う。例えば、簡単に儲かりますよメール、出会い系サイトの案内メール、御社とお取引をしたいメール(よく

スパムメール

読むと新商品の単なる売込み)などがある。なぜ、スパムメールが送られてくるのか? 配信コストが安いから。そのメール案内でお金を支払う人がいるからである。では、なぜ私のことを知らないのにメールが届くのか? 1つめ... メールアドレスが売り

買われている。2つめ... ホームページや掲示板に書かれているメールアドレスが集められている。3つめ... 連想される組み合わせでプログラムを組み合わせてメールを送る。(これは携帯メールの場合に多い)と言ったわけである。

多数の方からくる掲示板などではメールアドレスは書かない。携帯であれば電話番号でのメールアドレスではなく英文字交じりとする。フリーメールアドレス(無料でメールアドレスを発行してくれる)を取得する。と言った具合である。

そこで気をつけたい。自分はスパムメールを発信していないかと言うこと。簡単にメールすることが出来るため、名簿を買って案内メールしないように。貴方のメールがスパムかもしれない。

どう対処するのか? 来たメールがスパムだったら、読まずに捨てる。これが第一番目の対処。うさんくさいページには会員登録しない。プレゼントの応募は自己責任においてする。不特定

(県連合会嘱託専門指導員 榎田 良一)

~あなたの街の“頑張るお店”推薦ください~

平成13年度いしかわ商工会ベスト店賞
候補店募集中

県連合会では、石川県内の商工会地区にあるお店の中から、地域の人たちの要望に応じて、魅力ある店づくりやサービスの提供に努力しているお店を顕彰する『いしかわ商工会ベスト店賞』の候補店を募集しています。

募集締切日：平成13年11月30日(金)

推薦(応募)・選考・表彰要領

対象店舗
 石川県内商工会地区内で、小売業、飲食店及びサービス業を営むお店(ただし、大型店並びに運営の大部分が本部の指示によるフランチャイズ・チェーン加盟店等を除きます。)
 推薦(応募)方法
 自薦、他薦を問いません。
 推薦(応募)用紙に所定事項をご記入いただき、お店の写真(店頭)を添付して、石川県商工会連合会までご郵送ください。(推薦応募用紙は、商工会にあります。)
 なお、他薦の場合は、この用紙のみをご郵送またはFAXしていただいても結構です。
 選考方法
 学識経験者による審査委員会の委員が候補店舗を訪問の上、選考します。
 なお、推薦(応募)店舗が多数の場合は、書類選考を実施の上、訪問選考を実施いたします。

表彰店数(予定)
 最優秀賞 1店 優秀賞 2店
 特別賞 2店 奨励賞 5店
 表彰店のPR
 表彰店を次のとおり公表し、お店のPRの一助とします。
 石川県商工会連合会会報「商工がのど」の店舗めぐりによる紹介
 本会のホームページによる紹介
 参加費用
 無料
 《お申し込み・お問い合わせ先》
 〒920-0223
 金沢市戸水町165
 石川県商工会連合会
 広域指導部経営支援課
 TEL：076-268-7300 FAX：076-268-9933

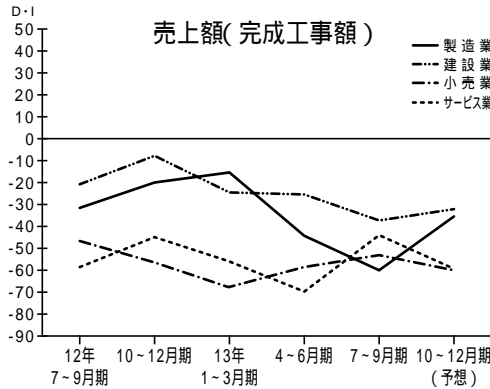
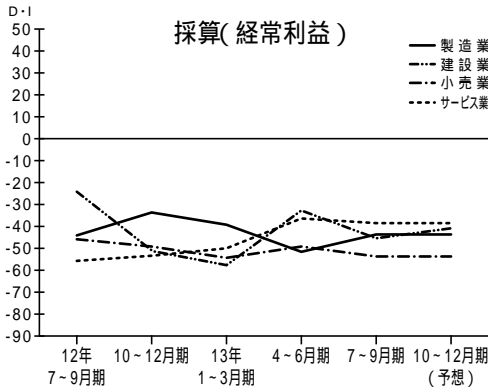
景況は水面下で横這いが続く

中小企業景況調査(7~9月期)

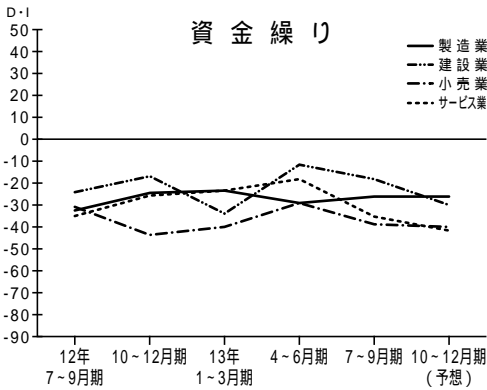
県下商工会地域における平成十三年七月から九月期の景況調査がまとまった。産業全体をD・Iで見ると、「売上」は二・九ポイントとわずかながら改善した。十二年十月から十二月期以来久しぶりの改善である。しかし、「採算」「資金繰り」は、ともに悪化した。特に「資金繰り」の悪化幅は、六・九ポイントと大きく前期の改善効果がそのまま吹っ飛んでしまった。

業種別に見ると、製造業の「売上」は前々期以来、下落を続け、マイナス六〇・五ポイントにまで落ち込んだ。しかし「採算」「資金繰り」は、改善している。不況対応型の経営が定着しつつあるといえよう。これに対して、建設業は「売上」「採算」「資金繰り」の全てが悪化していて、今後、より慎重な対応が求められることになる。

小売業・サービス業は、ともに売上は改善しているが、「採



算「資金繰り」は悪化して丁度、製造業と逆の動きをしている。「採算」「資金繰り」は企業にとっては重要な経営指標であり、不況適応のためにも、その改善が急がれる。来期は産業全体で見ると「売上



上「資金繰り」がやや悪化し採算はやや改善するが、いずれも変動は小幅であり、ほぼ横這いということになる。業種別に見ると建設業の「資金繰り」の悪化幅が大きい。建設業の経営はまさに正念場を迎えているということになる。

D・I「企業経営者の景気の見通しを表す指標として利用される。算出方法は、売上高(生産高・工事高)の増加企業割合から減少企業割合を差し引きしたものであり、D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、プラス・マイナス同数の場合はD・Iは0となる。ここで割合は回収企業に対する回答割合。

2001中部むらおこし物産展を開催

中部むらおこし物産展は九月十二日から六日間、岐阜市の高島屋岐阜店で開催された。

この物産展は、中部五県(愛知、岐阜、三重、富山、石川)商工会連合会で構成される物産展推進協議会が主催し、毎年各県持ち回りで開催しているもので、本年は、岐阜県が開催幹事県となつて開かれた。

「オープニングセレモニー」

小川中部経済産業局産業振興部長、近藤全国商工会連合会長らを迎えて行われ、谷本石川県商工会連合会長が各県代表者とともにテープカットした。

「各県ミンスが物産展等をPR」

中部五県の商工会地域ミンスコンテストで選ばれた者のうち、各県から一名がミンス物産展として参加し、開催日前

日の報道機関各社への訪問や開催期間中に各県コーナーにおいて物産展・特産品のPRに努めた。本県の代表ミンスとして、鹿西町の「ミンスおにぎりの異林麗子」が参加した。

「郷土芸能を披露」

十二日、十五日、十六日の三日間は、高島屋岐阜店一階の「ばらの広場ステージ」において、五県の郷土芸能が披露され、来店客を魅了していた。本県からは、「白峰村民謡有志の会」の皆さんが十六日に出演し、石川県指定無形民俗文化財の「かんこ踊り」を披露した。

福井県各広域連携物産展へ参加

福井県広域連携物産展「商工会お国自慢博二〇〇一」は、十月十二日から三日間、福井県産業会館(一号館、二号館)で開催された。

この物産展は、福井県商工会連合会が主催し、本県など十商工会連合会(新潟、富山、三重、京都、滋賀、奈良、大阪、兵庫、和歌山)が参加し開かれた。

本県からは、三商工会(野々市町、白峰村、能都町)が出展し、それぞれふるさと自慢の特産品を展示・即売した。

再生に意欲のある企業をバックアップ!!



— 石川県中小企業再生支援プログラム創設 —

県では、経営環境が厳しい状況にあるものの、再生が見込める企業に対して、官民が一体となり、経営、金融面等から総合的に支援を行う中小企業再生支援プログラムを創設しました。

同プログラムは、再生に強い意欲があり経営の改善が見込める企業を、商工会、金融機関、県などが有機的に連携し、相談・診断・金融・フォローアップによって企業再生をバックアップします。

主な内容は次のとおり。

1. 経営安定特別相談の充実

商工調停士を増員して、再生可能性の検討、経営改善計画の作成支援等の倒産防止等中小企業の経営安定に資する経営指導の充実

2. 企業再生支援検討会の設置

企業再生支援チーム（商工調停士、弁護士、会計士、金融機関、保証協会等）を設置して、個別企業の経営改善計画に基づく再生可能性・支援方策の協議、再生支援保証制度適用の検討

3. 各種金融制度により再生をサポート

「企業再生支援検討会」にて再生支援の確認を受けた企業を金融面から支援するため、保証付き既往債務の借り替え等に対応する保証制度の創設及び制度金融の拡充

【中小企業再生支援保証制度の創設】

- ・保証限度額：8,000万円
- ・保証期間：10年以内（据置2年以内）
- ・貸付利率：金融機関所定利率
- ・保証料率：年1.0%
- ・連帯保証人：第三者保証人を徴求しない

【経営安定対策特別融資の拡充】

融資限度額の引き上げ（3,000万円 5,000万円）

【連鎖倒産防止・災害対策融資の拡充】

融資制度額の引き上げ（3,000万円 5,000万円）

融資利率の引き下げ（1.6% 1.5%）



4. 企業再生フォローアップ診断の実施

当該プログラムにより支援を受けた企業に対して2年程度の継続的な経営診断・指導を実施

プログラムの詳細な内容等に関するお問い合わせは、最寄りの商工会
又は、石川県商工会連合会へ（TEL 076 - 268 - 7300）

探訪 チャレンジ企業 25

「心にひびく機械づくり」を目指して挑戦
 (有)宏和機械工業：川北町
 (各種とうふ機械設計・製造)



豆腐業界に大きな反響を呼んでいる(有)宏和機械工業

社長の八陳久夫氏は、珠洲市高屋町の出身である。中学卒業と同時に、野々市町の鉄工所に就職し、また定時制工業高校へも入学して、仕事に必要な機械についての知識と技能を一通り習得した。

しかし、同氏は「まず一流の職人になれ！そしていつかは独立せよ!!」との父の教訓を忘れずに努力を続け、平成四年四月

「心にひびくものづくり」を目指して

同社社長の八陳久夫氏は、珠洲市高屋町の出身である。中学卒業と同時に、野々市町の鉄工所に就職し、また定時制工業高校へも入学して、仕事に必要な機械についての知識と技能を一通り習得した。

しかし、同氏は「まず一流の職人になれ！そしていつかは独立せよ!!」との父の教訓を忘れずに努力を続け、平成四年四月

この難題を解決した。

それには、一本のスクリーンを使って槽内に静かな対流を発生させ、水の条件を均等に保ってやればよい。この原理を実用化したのが、「大豆浸漬装置」であり、同社の主力製品として、豆腐業界に大きな反響を呼んだのである。



「心にひびくものづくり」をモットーとしている八陳久夫さん

に念願の独立を果たしたのである。創業の理念は、「心にひびくものづくり」であり、「ゼニ・カネにとらわれず、良いモノを作り続けていけば、結果は必ずついてくる」との信念を持って工夫を重ね、遂に「画期的」と評される一連の豆腐製造機械の開発に成功したのである。

三 「すばらしいローテク」製品群

同社の主力製品は、先に紹介した「大豆浸漬装置」をはじめ、「漬大豆洗浄装置」や「手揚風フライヤー」など、一連の豆腐製造機械である。「浸漬装置」と同じく、「洗浄装置」には、雑菌が繁殖しないよう、つばす直前に洗浄する等の工夫が、また「フライヤー」には油温を一定に保つことにより製品（油揚げ）の味と形を整える等の工夫がなされている。自然の原理を巧みに利用したこれらのシンブルな構造は、手仕事の味わいを残しながらも、効率よく生産でき、また使い勝手がよくて、

メンテナンス性にもすぐれている。

そのため得意先より「すばらしいローテク」との讃辞を頂き、その結果販売先も、国内だけでなくますます遠くアメリカへも及んだのである。

四 「顧客第一」を貫いて更なる挑戦へ

同社はまた地元松本電器産業(株)をはじめ、数社から、設備機械の設計製作補修等の注文を受けているが、常に「顧客の立場に立つこと」を心がけていて、休日や深夜の作業もいとわれない。そのためすぐれた食品機械の販売と相まって、売上は急拡大を続け、「不況下の成長企業」の貴重な事例として周囲の注目を集めている。更にコンピュータ制御の機械の開発も目指している。同社の挑戦には限りがない。前進を続ける宏和機械工業に支援の大きな拍手を送りたい。

「このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

(お問い合わせ)

有限会社 宏和機械工業

〒九二三 一一七一

石川県能美郡

川北町田子島に十一番一

TEL 〇七六 二七七 三〇〇七

FAX 〇七六 二七七 三〇〇九

夜間TEL

〇七六 二七七 三六九八

代理店研修生募集

研修嘱託社員となっただき、将来専業代理店となっただきです。

損害保険代理店は時代の先端をゆくビジネスです。

- 資格 22歳～45歳
- 給与 210,000円～280,000円(固定給)
- 研修期間 標準36ヶ月

まごころでサービス

安田火災

くわしくは、お気軽に
右記へご相談下さい。

安田火災海上保険(株)

金沢支店

金沢市香林坊1-2-21

第一支社

電話 (076) 262-1671